

TAKE
FREE

冬

2026.Winter

【No.508】

With

J A 愛知厚生連広報誌



病院特集

海南病院



特集

年頭挨拶

地域とともに、 地域医療を守り抜く。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員・J A 役職員・行政をはじめ地域の皆さまには本会運営に日頃からご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

団塊の世代がすべて75歳以上となった2025年以降は、高齢者の増加が緩やかになる一方、生産年齢人口の急減が予測されていますが、郡部やへき地では、すでに人口減少が進行しており、医療需要が減少している地域も見られます。

また、物価高騰や賃金上昇が継続しており、医療機関ではコスト増を価格に反映することができず、全国の約7割の病院が赤字と報告されています。医療機関の厳しい状況に対応するため、令和8年度の診療報酬改定では重点課題として議論が進められています。

医療を取り巻く環境は大変厳しいですが、地域に必要な医療・保健・福祉を提供することを使命とし、本会の組織力を発揮しながら、役職員一丸となって地域の皆さまの信頼と期待に応えてまいります。

皆さまと力を合わせ、本会使命を果たすべく、精一杯努めてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



J A 愛知厚生連
経営管理委員会会長

長谷川 浩敏



J A 愛知厚生連
代表理事理事長

宇野 修二

写真で振り返る2025

1月



赤ひげ大賞受賞

足助病院の早川名誉院長が、地域医療の実践により住民の健康を支えてきたことが称えられ、第13回日本医師会赤ひげ大賞を受賞しました。

2月



J A あいち海部イチゴ即売会

海南病院で J A あいち海部によるイチゴ即売会を開催しました。各病院は地域の J A と連携し、年間を通じて様々なイベントを行っています。

3月



創立 90 周年

安城更生病院は創立90周年を迎えました。開院時は45床だった病床数は771床となり、基幹病院としての役割を果たしています。

4月



入会式

入会式を開催し、509名の新入職員が参加しました。看護専門学校では合同入学式を開催し、合計120名の新入生を迎えました。

5月



「看護の日」イベント

5月12日の「看護の日」に合わせて各事業所では、看護師をより身近に感じていただけるようイベントを開催しました。

6月



海部地方総合防災訓練

海南病院は海部地方総合防災訓練に参加し、大型台風および南海トラフ巨大地震を想定して訓練を行いました。

7月



病院広報アワード優秀賞受賞

足助病院の小林病院長は「病院広報アワード」にて、院長自ら情報発信を拡大してきたことをアピールし、優秀賞を受賞しました。

8月



子ども医療体験

渥美病院と知多厚生病院は、将来医療従事者を目指してほしいという願いを込めて、夏休みに子ども医療体験を実施しました。

9月



看護師特定行為研修修了式

江南厚生病院は第1期生となる特定看護師を輩出しました。海南病院でも特定看護師を育成しており、今後の活躍が期待されます。

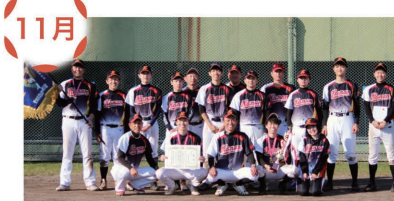
10月



病院祭

豊田厚生病院が6年ぶりに病院祭を開催しました。11月には稲沢厚生病院もそふえイチョウ黄葉まつりとコラボした病院祭を開催しました。

11月



球技大会

球技大会を開催し、野球とバレーボールの決勝を行いました。野球・バレーボールともに江南厚生病院が優勝しました。

12月



看護専門学校 戴灯式

11月から12月にかけて看護専門学校では戴灯式を行いました。臨地実習を前に人の命に関わる責任感を改めて認識しました。

在宅支援棟

海南病院では、令和7年7月に在宅医療・介護に関わる部署を「在宅支援棟」に集約しました。本特集では機能集約後の様子をインタビュー形式でお聞きました。



介護事業室長に聞く！ 海南病院の「在宅支援棟」

介護事業室長
末藤 和正さん

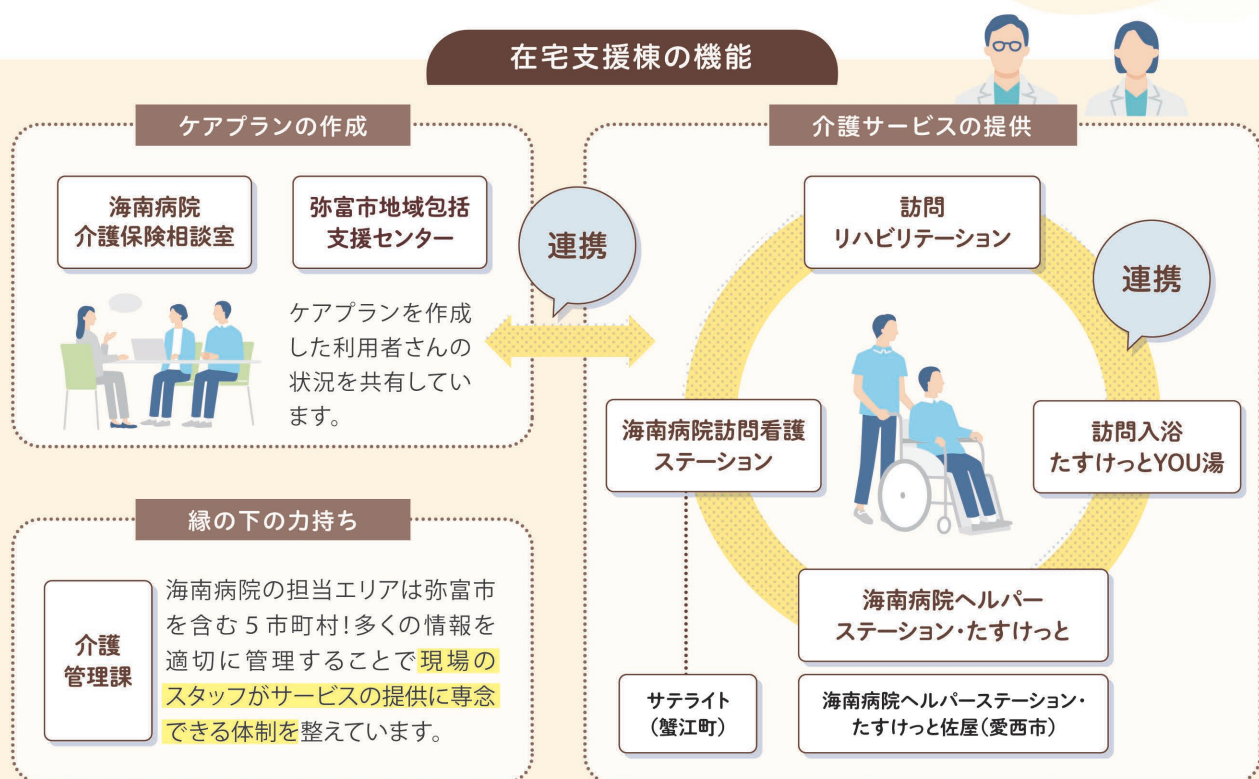
Q1 機能を集約した背景を教えてください。

A1 利用者さん宅に訪問する業務であることに加え、在宅医療・介護に関わる7つの部署が病院内外に点在していたため、利用者さんの支援方法を話し合ったり、緊急度・詳細を共有することが難しい環境でした。令和7年3月に閉所した通所リハビリテーションきららの跡地を活用することで集約を実現しました。

Q2 機能を集約して変化したことはありますか？

A2 出勤した時や昼休憩、学習会など、それぞれの部署の職員と顔を会わせる機会が格段に増えました。利用者さんの状況やお互いのスケジュールを、部署間でより共有しやすくなり、利用者さんに必要なケアが必要な時に届けられるようになりました。

在宅支援棟の機能



現場のスタッフに聞く！ 海南病院の「在宅支援棟」

Q1 一つの場所に集まれて良かった！と思う出来事を教えてください！

A1 独り暮らしの利用者さんが自宅で転倒して「起き上がれない」と連絡があった時に、担当職員は不在でしたが、在席していた3部署のスタッフが利用者さんの情報をかき集め、速やかに救助することができました。情報と人が1ヶ所に集まっていることの大切さを実感しました。

海南病院介護保険相談室
石田 ゆかりさん

Q2 連携を強化できて良かった！と思うエピソードを教えてください。

A2 訪問入浴時に、皮膚トラブルや体調の変化を発見することがあります。事務所に戻るとすぐに担当の訪問看護師に主治医への連絡や注意事項等を直接報告できる環境になり、迅速に対応できるようになりました。利用者さんも、私達も安心感が高まりました。

たすけとYOU湯
田中 菜穂さん

Q3 在宅支援サービスを提供する上で大切にしていることは何ですか？



A3 利用者さんに、質の高いサービスを提供するために一部の医療行為を看護師が行う「特定看護師」の研修を受講しています。当事業所では3人目となります。医師の指示の下、専門的なサービスを提供することで、利用者さんやご家族に安心して在宅療養を受けていただきたいと思います。

海南病院訪問看護ステーション
青木 由美さん

Q4 これからどんな在宅支援サービスを提供していきたいですか？



A4 利用者さんの気持ちに寄り添い、最期まで望む暮らしを実現できるよう支援することを目指しています。自宅での生活は、利用者さんも家族も孤立感やつらさを感じることも多いですが、少しでも人の繋がりを感じながら安心して過ごしていただきたいと思います。

ヘルパーステーションたすけと
東 元子さん

TOPICS 地域で介護を考える！

11月11日の「介護の日」にあわせて「笑大学校」というイベントを毎年開催しています。誰もが発症しうる認知症を理解し、介護について身近に考えてほしいという思いから、職員が結成する「たすけと劇団」による愛と笑いに溢れた寸劇を上演しています。今年から主役に「稲造じいさん」を迎え、新たなスタートを切りました。衣装や小道具はすべて手作りで、職員全員が面白さを追求し、「皆さんに喜んでいただきたい！」という一心でトコトンこだわった結果、プロの劇団顔負けのクオリティーとなりました。

稲造じいさん プロフィール

生年月日：昭和12年1月30日
御年88歳
家族構成：息子(単身赴任中)
嫁、孫娘の3人家族
介護度：要介護認定申請中
趣味：テレビ鑑賞
時代劇が好き♥
若い頃は農協勤務で働き者！
性格は温厚です。



TOPICS
10~12月

Hot Topics

JA 愛知厚生連のホットな取り組みをご紹介します

10/18 知多厚生病院

災害拠点病院災害連携訓練を行いました。

10月18日、地域災害拠点病院に指定されている知多厚生病院は、大規模災害に備え消防隊や地域の医療機関、町役場と合同で訓練を行いました。今回の訓練では、震度7の地震が発生したと想定し、関係機関と連携して多数の傷病者の受け入れとトリアージおよび救護活動を実施しました。実際に消防隊によって知多厚生病院に模擬患者が搬送され、治療班が模擬患者の症状に応じた治療を行い、スムーズに患者さんを受け入れるための手順を確認しました。



10/25 豊田厚生病院 11/29 稲沢厚生病院

豊田厚生病院と稲沢厚生病院で病院祭を開催しました。



10月25日に豊田厚生病院、11月29日に稲沢厚生病院で病院祭を行いました。豊田厚生病院は6年ぶりの開催で、最前線医療を解説する市民公開講座や健康管理コーナー、キッズコーナーなどを設け、大人から子どもまで楽しめるイベントとなりました。また、稲沢厚生病院は創立80周年を記念して「未来へつなぐいのち」をテーマに市民公開講座や様々な体験を行いました。今回は、そぶえイチョウ黄葉まつりとコラボレーションし、地域の皆さんとともに病院祭を作り上げました。

11/9 JA愛知厚生連

JAグループ愛知 ドームドッジ2025inナゴヤに参加しました。

11月9日、JAグループ愛知全体で取り組んでいるJA版ウェルビーイング活動の一環として、ドームドッジ2025に参加しました。本会からは5チームが出場し、日頃の業務で培ったチームワークを発揮し、楽しく体を動かしました。またJAグループ愛知として出展したブースでは、ベジチェックや薬剤師体験、厚生連の取り組みを紹介するパネル展示を行いました。薬剤師体験では、薬に見立てたお菓子が包装される様子に、子どもたちは目を輝かせながら楽しんでいました。



JA愛知厚生連のニュースは随時配信中

Webサイトは
こちら



Instagramは
こちら



11/9 海南病院

介護の日のイベント「笑大学校」を開催しました。

11月9日、海南病院は介護の日のイベントとして「笑大学校」を開催し、職員で結成するたすけっと劇団による寸劇を上演しました。寸劇では、認知症や老老介護、ヤングケアラーなどをテーマに、介護を受ける方と支える家族の双方に焦点をあて、介護を身近に考えていただく機会になりました。さらに、今年度からNEWヒーローとしてデビューした「稲造じいさん」が金色の衣装で登場し、参加者と一緒にサンバを踊り、会場を大いに盛り上げました。



11/15 稲沢厚生病院

自宅で看取りを経験した家族の交流会を行いました。



11月15日、稲沢厚生病院は、訪問看護を利用し自宅での看取りを経験した家族の交流会を行いました。この会はグリーフケアの一環として、同じ経験を持つ家族が集まり、当時の気持ちやその後に感じたことを語り合い、寄り添うことで喪失や悲嘆を和らげることを目的に開催しています。当日は終始和やかな雰囲気でも語り合いが行われ、主催した職員は「改めて語り合う場があることの必要性を感じました。ご家族の深い悲しみに寄り添いながら支えていきたいです。」と話しました。

看護専門学校が戴灯式を行いました。

更生看護専門学校、愛北看護専門学校、加茂看護専門学校が戴灯式を行いました。戴灯式は、臨地実習が始まる前に、看護師としての志や人の命に関わる責任感を改めて認識するための式典です。今年は120名の1年生がナイチンゲール像から灯を受け取り、看護の道に進む決意を新たにしました。

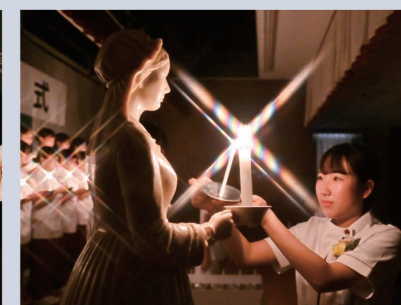
11/6 更生看護専門学校



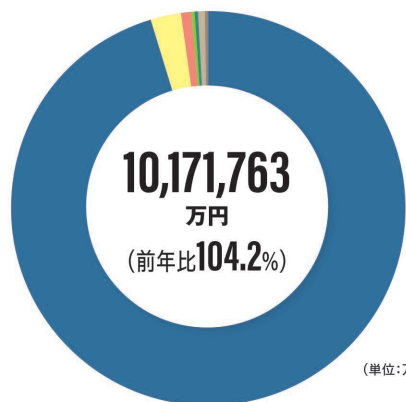
12/2 愛北看護専門学校



10/31 加茂看護専門学校



事業実績



(単位:万円)

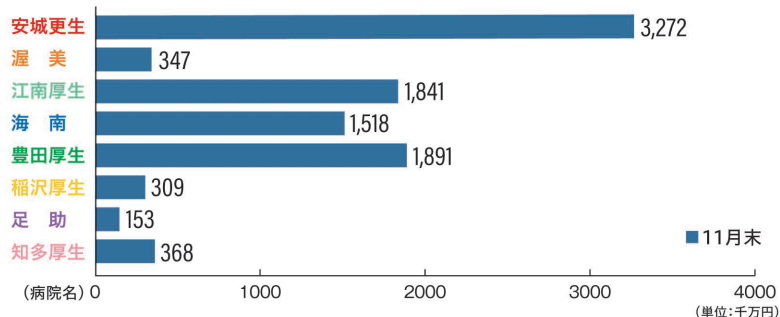
事業実績(11月末)

- 医業収益(除保健予防活動収益)
9,693,848(前年比104.3%)
- 保健予防活動収益
267,422(前年比99.0%)
- 老健施設運営収益
87,709(前年比103.4%)
- 介護医療院運営収益
15,336(前年比99.9%)
- 訪問看護収益
41,904(前年比101.0%)
- 老人福祉事業収益
49,429(前年比110.1%)

病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数 通計
安城更生 (771)	外来	293,806
	入院	177,354
渥美 (302)	外来	90,807
	入院	56,079
江南厚生 (630)	外来	224,960
	入院	135,984
海南 (540)	外来	196,864
	入院	120,232
豊田厚生 (606)	外来	210,402
	入院	132,100
稲沢厚生 (225)	外来	91,983
	入院	47,108
足助 (148)	外来	39,481
	入院	25,477
知多厚生 (199)	外来	89,388
	入院	45,102
JAあい健診センター	外来	131
	入院	
合計 (3,421)	外来	1,237,822
	入院	739,436

病院別診療収入



JA愛知厚生連の事業所

各事業所のInstagramはこちら

1 JA愛知厚生連本部

2 安城更生病院

3 渥美病院

4 江南厚生病院

5 海南病院

6 豊田厚生病院

7 稲沢厚生病院

8 足助病院

9 知多厚生病院

10 更生看護専門学校

11 愛北看護専門学校

12 加茂看護専門学校



冬

JA愛知厚生連広報誌「With」 No.508 発行日/2026年1月1日 発行/愛知県厚生農業協同組合連合会

編集/本部 企画管理局 経営企画部 TEL 0561-62-3162 本誌に掲載されている内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

ともに、守り抜く。
JA愛知厚生連

Webサイト

